

## 聖霊降臨後第19主日特禱（特定21）

憐れみ深い主よ、どうかみ民を赦し、平安を与え、その罪をことごとく清め、穏やかな心をもって主に仕えさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。**アーメン**

### 旧約聖書 民数記 11章 4-6節, 10-16節, 24-29節

11:4 民の一部の輩が飢えと渴きを覚え、イスラエルの人々も再び泣いて言った。「誰が私たちに肉を食べさせてくれるのだろうか。5 エジプトにいた頃、ただで食べていた魚が忘れられない。きゅうりもすいかも、葱も玉葱もにんにくも。6 今では、私たちの魂は干上がり、私たちの目に入るのは、このマナのほかは何もない。」

10 モーセは民の各氏族がそれぞれの天幕の入り口で泣くのを聞いた。主の怒りが激しく燃え上がったが、それはモーセの目には酷いことに見えた。11 モーセは主に言った。「あなたは、なぜ、僕を苦しめられるのですか。なぜ私はあなたの恵みを得ることなく、この民すべてを重荷として負わされるのですか。12 私がこの民すべてを身ごもったのでしょうか。この私が彼らを産んだのでしょうか。あなたは私に、養い親が乳飲み子を抱くように彼らを胸に抱き、あなたが彼らの先祖に誓われた土地に連れて行けと言われるのです。13 この民すべてに与える肉を、私はどこから得るのでしょうか。彼らは私に向かって泣き、肉を与えて食べさせよと言うのです。14 私一人ではこの民すべてを負うことはできません。私には重すぎます。15 私にこのような仕打ちを続けるのなら、むしろ私を殺してください。私があるあなたの恵みを得ているのであれば、どうか私が苦しみを見ないようにしてください。」16 主はモーセに言われた。「イスラエルの長老たちのうちから、民の長老およびその役人としてあなたが知っている者を七十人、私のもとに集めなさい。彼らを会見の幕屋に連れて来て、あなたの傍らに立たせなさい。

24 モーセは出て行って民に主の言葉を告げ、また、民の長老の中から七十人を集めて幕屋の周りに立たせた。25 主は雲の内であって降り、モーセに語りかけ、モーセの上にある霊の一部を取って、七十人の長老に分け与えられた。霊が彼らの上にとどまると、彼らは一時の間だけ預言者のようになった。26 この時、二人の者が宿営に残っていた。一人はエルダド、もう一人はメダドと言い、名を記された人であったが、幕屋に出かけていなかった。この二人の上にも霊がとどまり、宿営で預言者のようになった。27 モーセのところに若者が走って来て、「エルダドとメダドが宿営で預言者のようになっています」と告げると、28 若い頃からモーセの従者であったヌンの子ヨシュアが「わが主人、モーセよ。彼らをやめさせてください」と言ったが、

29 モーセは言った。「あなたは私のために妬みを起こしているのか。私はむしろ、主の民すべてが預言者になり、主がご自身の霊を彼らの上に与えてくださればよいと望んでいるのだ。」

## 詩 編 第19編

- 1 天は神の栄光を語り // 大空はみ手の業を告げる
- 2 日は日に言葉を語り継ぎ // 夜は夜に知識を伝える
- 3 言葉でもなく、話でもなく // その声も聞こえないが
- 4 その響きは地を覆い、その言葉は世界の果てに及ぶ // 神は海に太陽の幕屋を据えられた
- 5 太陽は花婿のように住まいを出て // 勇士のようにその道を喜び走る
- 6 天の果てから姿を現し、その果てまで巡り行き // その熱から隠れ得るものはない
- 7 主の教えは完全で、魂を生き返らせ // 主の諭しは変わらず、心に知恵を与える
- 8 主の定めは正しく、心を喜ばせ // 主のみ旨は清く、目を開く
- 9 主の言葉は混じりけなくとこしえに続き // 主の審きは真実ですべて正しい
- 10 金よりもどんな純金よりもすばらしく // 蜜よりも、蜂の巣のしたたりよりも甘い
- 11 あなたの僕はこれに教えられ // それを守って大きな報いを受ける
- 12 だれが自分の過ちを悟り得よう // 知らずに犯した過ちから清めてください
- 13 あなたの僕をおごりから引き離し、その支配に陥らぬようにしてください // わたしが汚れることなく、大きなとがを避けることができますように
- 14 主よ、わたしの岩、わたしの贖い主 // わたしの言葉と思いがみ心にかないますように

## 使徒書 ヤコブの手紙 4章7-12節、《13-5章6節》

4:7 ですから、神に従い、悪魔に立ち向かいなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。8 神に近づきなさい。そうすれば、神は近づいてくださいます。罪人たち、手を清めなさい。二心のある者たち、心を清めなさい。9 嘆き、悲しみ、泣きなさい。あなたがたの笑いを悲しみに、喜びを憂いに変えなさい。10 主の前にへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高くしてくださいます。

11 きょうだいたち、互いに悪口を言ってはなりません。きょうだいの悪口を言ったり、きょうだいを裁いたりする者は、律法の悪口を言い、律法を裁くことになるのです。律法を裁くなら、あなたは律法を行う者ではなく、その裁き手です。12 律法を定め、裁く方はただひとりです。この方が、救うことも滅ぼすこともできるのです。

隣人を裁くあなたは、一体何者なのですか。

《13 さて、「今日か明日、これこれの町へ行って一年滞在し、商売をして一儲けしよう」と言う人たち、14 あなたがたは明日のことも、自分の命がどうなるかも知らないのです。あなたがたは、つかの間現れ、やがては消えてゆく霧にすぎません。

ヤコ 4:15 むしろ、あなたがたは、「主の御心であれば、生きて、あのことやこのことをしよう」と言うべきです。16 ところが実際は、見栄を張り誇っています。そのような誇りはすべて悪です。17 だから、なすべき善を知りながら行わないなら、それはその人の罪です。

5:1 さて、富んでいる人たち、自分に降りかかる不幸を思って、泣き叫びなさい。2 あなたがたの富は朽ち果て、衣は虫が食い、3 金銀もさびてしまいます。このさびが、あなたがたを訴える証拠となり、あなたがたの肉を火のように食い尽くすでしょう。あなたがたは、この終わりの日々でありながら、宝を蓄えたのです。4 見なさい。畑の刈り取りをした労働者にあなたがたが支払わなかった賃金が、叫び声を上げています。刈り入れをした人たちの叫びが、万軍の主の耳に届いています。5 あなたがたは、地上で贅沢に暮らし、快樂にふけり、屠られる日のために自分の心を肥やしたのです。6 あなたがたは正しい人を罪に定めて殺しました。その人は、あなたがたに抵抗していません。》

## 福音書 マルコによる福音書 9章 38-43 節、45 節、47-48 節

9:38 ヨハネがイエスに言った。「先生、あなたのお名前を使って悪霊を追い出している者を見ましたが、私たちに従わないので、やめさせました。」39 イエスは言われた。「やめさせてはならない。私の名を使って奇跡を行い、そのすぐ後で、私の悪口は言えまい。40 私たちに逆らわない者は、私たちの味方なのである。41 よく言うておく。あなたがたがキリストに属する者だという理由で、一杯の水を飲ませてくれる人は、必ずその報いを受ける。」

42 「また、私を信じるこれらの小さな者の一人をつまずかせる者は、ろばの挽く石臼を首に懸けられて、海に投げ込まれてしまうほうがはるかによい。43 もし片方の手があなたをつまずかせるなら、切り捨てなさい。両手がそろったままゲヘナの消えない火の中に落ちるよりは、片手になって命に入るほうがよい。45 もし、片方の足があなたをつまずかせるなら、切り捨てなさい。両足がそろったままゲヘナへ投げ込まれるよりは、片足になって命に入るほうがよい。47 もし片方の目があなたをつまずかせるなら、えぐり出しなさい。両目がそろったままゲヘナに投げ込まれるよりは、一つの目になって神の国に入るほうがよい。48 ゲヘナでは蛆が尽きることも、火が消えることもない。